

(別紙)「第4次宝塚市環境基本計画(案)」に対するパブリック・コメント手続き以外での修正内容一覧表

* パブリック・コメント実施後に、以下のとおり修正しました。

No.	項目	ページ	行	該当箇所	修正前	修正後	意見区分	修正理由
1	計画全般に関する「その他」			【概要版】にも、馴染みのない文言の説明(本編の脚注のようなもの)を入れてほしい。		概要版の巻末に「用語集」を追加	1 職員 2 所管課 ③ その他 (議会 産業建設常任委員会)	より分かりやすくするため。
2	公共交通	15	6	5 交通 (1)公共交通	北部地域ではバス停の利用圏域はバス路線の沿道に限られます。	北部地域では令和9年3月末をもって路線バスを廃止することが決定されました。交通空白が生じないよう令和9年4月から新たな移動手段の本格運行に向け、令和8年下半年に試験運行を予定しています。	1 職員 ② 所管課 3 その他 ()	文言の適正化を図るため。
3	バス路線図	15		「バス路線図」		「バス路線図」を最新版(宝塚市都市計画マスタープラン資料)に変更	1 職員 ② 所管課 3 その他 ()	最新の情報を反映させるため。
4	環境学習・教育の推進	73		VI みんなで取り組む環境づくり 1 環境学習・教育の推進 《取組の推進を補完・連携する計画など》	第2次宝塚市農業振興基本計画	第2次宝塚市農業振興計画	1 職員 ② 所管課 3 その他 ()	正しい計画名に修正するため。
5	循環型社会	20		第2節 循環型社会 (1)ごみ排出量	平成29年度(2017年度)に排出量が増加したのはコロナ禍にあって消費生活の変化が影響しています。宝塚市の一人一日あたりのごみ排出量は全国平均とほぼ同程度で、微減傾向にあります。	令和2年度(2020年度)以降減少傾向を続けており、宝塚市の一人一日あたりのごみ排出量は減少傾向にあります。	1 職員 ② 所管課 3 その他 ()	文言の適正化を図るため。
6	環境特性 廃棄物	42		第9節 環境特性 廃棄物	一人一日あたりのごみ排出量は、減少傾向で全国平均を下回って推移	一人一日あたりごみ排出量(資源ごみ、集団回収除く)は、減少傾向で全国平均を下回って推移	1 職員 ② 所管課 3 その他 ()	文言の適正化を図るため。
7	ごみの発生抑制、再使用の促進(2R)	51		1 ごみの発生抑制、再使用の促進(2R) (1)家庭や事業所におけるごみ排出量の削減	本市の1人1日当たりの焼却量は家庭系・事業系ごみを合わせて589gであり、県の平均716gを下回り、県内では6番目に少ない水準となっています。	「(1)家庭や事業所におけるごみ排出量の削減」から「【現状・課題】の6行目～」に記載箇所を変更	1 職員 ② 所管課 3 その他 ()	文言の適正化を図るため。
8	ごみの発生抑制、再使用の促進(2R)	51		1 ごみの発生抑制、再使用の促進(2R) 現状・課題	目標(2035年度)	目標(2034年度)	1 職員 ② 所管課 3 その他 ()	文言の適正化を図るため。
9	ごみの発生抑制、再使用の促進(2R)	51		1 ごみの発生抑制、再使用の促進(2R) 現状・課題	最終処分量 目標(2034年度)6,209t	最終処分量 目標(2034年度)6,239t	1 職員 ② 所管課 3 その他 ()	正しい数値に修正するため。
10	分別の徹底とリサイクルの促進	53		2 分別の徹底とリサイクルの促進 現状・課題	目標(2035年度)	目標(2034年度)	1 職員 ② 所管課 3 その他 ()	文言の適正化を図るため。

No.	項目	ページ	行	該当箇所	修正前	修正後	意見区分	修正理由
11	生活の場づくりに関する「大分県景観形成条例」	54		2 分別の徹底とリサイクルの促進 (2) 分別徹底に向けた指導強化	使用済みリチウムイオン電池は定められた方法で廃棄します。	(削除)	1 職員 ② 所管課 3 その他 ()	文言の適正化を図るため。
12	生活の場づくりに関する「大分県景観形成条例」	42		第9節 環境特性 表 快適環境	景観計画特定地区6地区、都市景観形成地域21地域	景観計画特定地区9地区、都市景観形成地域12地域	1 職員 ② 所管課 3 その他 ()	正しい数値に修正するため。

該当する番号に○をつけてください。